

臨床研究に関する情報公開について

岡山旭東病院では以下の通り、患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。
インフォームド・コンセントを実施しない場合において、「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する指針」に基づき、情報公開いたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。ご自身のデータについて、本研究への利用を望まれない場合には、担当責任者にご連絡ください。

西暦 2025 年 7 月 1 日作成

研究課題名	UKA 術後のフォローアップにおける撮影精度と教育の重要性
研究責任者	放射線課 診療放射線技師 成本健太
研究期間	倫理委員会承認日 ~ 2025 年 7 月 31 日
既存試料・情報の収集期間	2020/4/1~2024/12/31
研究対象者	2020/4/1~2024/12/31 に人工膝関節単顆置換術を行った方。
研究の意義と目的	人工膝関節単顆置換術(以下:UKA)術後の合併症のひとつとして脛骨コンポーネント周囲の疲労骨折があげられる。疲労骨折はわずかなインプラントの転位しか生じないため、一般的な膝関節撮影での診断は困難となる。当院では早期診断できるよう透視装置で、術直後から脛骨コンポーネントに対し接線撮影し、フォローアップ検査でも同様に撮影することで、インプラントのわずかなズレを画像評価している。しかし、接線撮影が正しく行えていない場合、疲労骨折の評価が困難となり診断に影響を与える。本研究では、UKA 脛骨コンポーネントに対する接線撮影の精度を解析し、撮影精度の改善を行うことを目的とする。
研究の方法	ファントムに UKA インプラントを設置し、血管撮影装置にて 0.2° のステップで $\pm 2^{\circ}$ まで透視下にて撮影を行った。画像解析することで、膝関節正面像の矢状方向に対する脛骨コンポーネントの回旋角度を求める近似式を算出した。得られた近似式より臨床画像の回旋角度を算出し、撮影精度の評価を行った。撮影精度の改善を図るため撮影法マニュアル作成を行い、教育前後での撮影精度は標準偏差を用いて評価した。
利用する試料・情報	人工膝関節単顆置換術における術中撮影画像および術後フォロー画像
個人情報の保護	個人情報は削除し、どのデータが誰のものか分からなくして、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間 岡山旭東病院放射線課で保存します。電子情報はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他紙媒体の情報は施錠可能な保管庫で保管します。
試料・情報の利用の停止について	患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される試料・情報の提供とも利用を停止することができます。試料・情報の提供の停止を希望される方は下記の間い合わせ先までお申し出ください。
問い合わせ先	公益財団法人 操風会 岡山旭東病院 研究担当責任者: 成本 健太 連絡先(電話番号) 086-276-3231(平日:9時~17時)